

◆社会人シンポジウム

熊本大学電友会では昨年、新たに社会人となった新卒生のための歓迎会を開催いたしました
が、今年は1年間を社会人として過ごした卒業2年目の会員による社会人シンポジウムも併せ
て開催することとなりました。

1) 開会あいさつ



電友会 大平会長より開会のあいさつ

2) パネリスト発表&質疑応答

電友会阿部幹事の士会のもとに、社会人2年目の野田さん、橋本さん、富野さん、松村さん
の4名によって、

- ①自己紹介
- ②この1年間での社会人としての経験談
- ③今後社会人として取り組みたい豊富
- ④新卒者へのメッセージ

を発表していただきました。

<パネリスト>

- ・野田直軌氏 株式会社 Parmy
- ・橋本成功氏 株式会社 NTT ドコモ
- ・富野恭兵氏 株式会社 日立製作所
- ・松村彰子氏 株式会社 東芝



社会に出て1年間、学生と違って社会人として最低限守らなければならないルール、考え方、生活習慣の違いや、新人という立場でありながら責任ある業務を任せられる時には厳しい状況に直面しながらも持ち前のガッツで乗り越えてきたお話しなど、新卒者にはとても有意義であろう経験談をパネリストから発表していただきました。それに対して諸先輩方から様々なアドバイスをいただき、新卒者やパネリストだけでなく、参加した社会人すべての方が今後の参考になったと思います。

<各パネリストから新卒者へのメッセージ>

野田氏：新人の間は仕事で分からないことがあったら、周りの人に素直に聞くことが大事である。

橋本氏：自分の特色を早く見つけ出して、職場での立ち位置を発見することが重要である。

富野氏：周りとのコミュニケーションをしっかりと取ることが大事である。

松村氏：どんな仕事でも例え雑用であっても、会社内におけるその意味合いを考えながら取り組むことが重要である。

3) 総括コメント

ご来賓の熊本大学工学部情報電気電子工学科 上田教授と技術交流会 田中会長より発表者に対して総括コメントをいただきました。



上田教授 総括

★上田教授コメント

入社当初に味わったショップ研修や現場で悔しい思いをした経験や厳しさを克服され、今は職場で生き生きと活躍されているみなさんの様子を聞かせていただき感銘を受けました。

石の上にも三年と言いますが、厳しく冷たかった石もだんだん暖かく感じられていることを思いながら拝聴しました。いよいよこれからが本番です。大いに自分の力を発揮して活躍してくれることを心から願っております。

会場では、つい1カ月前までキャンパス生活を謳歌していたフレッシュマンの熱い眼差しがあり、一方で、キャリア数十年の大先輩の温かい眼差しを感じました。

このような場を用意された東京電友会の方々に感謝するとともに、このシンポが今後もますます繁盛しますことを願っております。



電友会技術交流会 田中会長 総括

★田中会長コメント

さすがに1年間の経験を積んでパネリストの皆さんは逞しく成長され、新卒者へのメッセージも素晴らしかったと思う。

私からパネリストや新卒者の皆さんに伝えたいメッセージは「仕事をする際には、常にリーダーシップを取ることを心がけて欲しい。その心がけを持ち続けることが20年後には「視野の広さ」、「部下の統率力」、「意思決定の早さ」などの能力向上につながり、必ず経営の一翼を担うような人材に育っているに違いないと思う。」

4) 閉会のあいさつ

電友会杉尾幹事長の閉会の挨拶で、社会人シンポジウムの幕を閉じた。



電友会 杉尾幹事長 閉会あいさつ

◆新卒生歓迎会

社会人シンポジウムの後、新卒生 14 名の歓迎会を盛大に行いました。若者らしく元気に社会人としての夢や希望を存分に語ってもらい、それに対して諸先輩方から経験に基づくありがたいアドバイスを頂戴いたしました。夢と希望を抱いている初々しい新卒者の姿に将来の日本のモノづくり業界の希望を見たような気がしますし、逆に諸先輩方も新卒者の姿に触発されたようで、これからの活力をもらったように感じました。



新卒者歓迎のご挨拶（池田先輩から）



有志による差し入れ

以上